

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	5
事業名	文化事業イベント経費	
会計	款	項
一般	10	5
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	様々な文化事業を行い、町民が文化に触れる機会を提供する。
事業内容	こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、音楽祭、ミュージカルの参加型の文化事業を開催することで、町民にさまざまな文化に触れる機会を提供する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	文化祭出点数	330			点		450	
2	文化イベント来場者数	908			人		3000		
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			16,555		17,280		31,914		
財源内訳	直接事業費 A		13,969		14,232		27,084		
	うち一般財源		11,821		11,999		20,164		
人件費 (千円) B			2,586		3,048		4,830		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.31	2046	0.38	2508	0.65	4290	
	臨時職員 (人・千円)		0.30	540	0.30	540	0.30	540	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	町の伝統文化や古典芸術等の魅力を幅広い年齢層に情報発信し、身近に触れあえる機会を提供する。	③取組の課題	文化事業や古典芸能の魅力を幅広い年齢層に情報発信し、町のPRを町内外に広める必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	「こども歌舞伎公演」・「日本の第九演奏会」・「音楽祭」は中止、「東員ミュージカル」は感染防止対策を十分に講じて行った。	④今後の改善計画	文化芸術基本条例を策定するため若者を含めた委員会を立ち上げ、町の実情に応じた条例策定に取り組み、文化芸術活動の発展に繋げるとともに、町内外へ情報発信する。